

① 研究課題名：リンパ節転移のある前立腺癌に対する放射線治療の調査研究

② 研究の目的：

名古屋市立西部医療センター陽子線治療科では、特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構（JROSG）が実施する下記の多施設共同研究を行っています。

リンパ節転移のある前立腺癌の放射線治療は標準的な治療が定まっておらず、各施設で治療方針が異なっています。この研究は、日本でのリンパ節転移のある前立腺癌に対する放射線治療の現状（放射線を照射する範囲、照射線量、照射開始のタイミング、有害事象や予後）を把握することを目的としています。

なお、名古屋市立西部医療センターでは、放射線治療の1つである陽子線治療を受けられた方のみを対象としています。

③ 研究期間：2019年 3月 ～ 2019年 12月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：日本大学医学部附属板橋病院放射線科 外来医長 前林 俊也

研究実施施設：浜松医科大学、筑波大学、東京慈恵会医科大学、国立がん研究センター東病院、長崎大学病院放射線先端医育センター、高知大学医学部附属病院、群馬大学重粒子線医学研究センター、金沢大学医学部附属病院、虎の門病院、日本大学医学部附属板橋病院、京都大学医学部附属病院、朝日大学病院、放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院、名古屋市立大学、東京ベイ先端医療・幕張クリニック、川崎医科大学附属病院、秋田大学医学部附属病院、慶應義塾大学、埼玉県立がんセンター、徳島大学医学部・歯学部附属病院、福岡大学、三重大学、国立病院機構東京医療センター、先端医療センター、国立病院機構鹿児島医療センター、千葉県がんセンター、西神戸医療センター、杏林大学医学部附属病院、東京都立多摩総合医療センター、九州大学大学院、県立広島病院、島根大学、信州大学、聖路加国際病院、順天堂大学、埼玉医科大学国際医療センター、天理よろづ相談所病院、東京医科大学、国立病院機構北海道がんセンター、滋賀医科大学医学部附属病院、琉球大学大学院、山形大学医学部附属病院、佐賀大学、東海大学、弘前大学、関西医科大学総合医療センター、がん研究会有明病院、岐阜大学、東邦大学医療センター大森病院、東京女子医科大学、鹿児島大学大学院、群馬大学大学院、新潟大学医歯学総合病院、奈良県立医科大学、名古屋大学医学部附属病院、金沢大学附属病院、大阪大学大学院、群馬県立がんセンター、神戸市立医療センター、中央市民病院、国立国際医療研究センター病院、近畿大学、川崎医科大学附属病院、国立病院機構山陽病院、高知大学、山梨大学、聖マリアンナ医科大学、長崎大学病院、東北大学病院、久留米大学、北里大学病院、札幌医科大学、東京医科歯科大学、がん・感染症センター都立駒込病院、自治医科大学、大阪医科大学、国立がんセンター中央病院、愛知県がんセンター中央病院、国立成育医療研究センター、四国がんセンター、埼玉医科大学総合医療センター、順天堂大学医学部附属練馬病院、社会医療法人厚生会木沢記念病院、神奈川県立がんセンター、広島大学病院、高崎総合医療センター、富山県立中央病院、総合南東北病院、東京慈恵会医科大学附属第三病院、兵庫県立がんセンター、富山大学附属病院、滋賀県立成人病センター、京都大学原子炉実験所、鳥取県立中央病院、宮城県立がんセンター、山口大学医学部附属病院、愛知医科大学、静岡県立静岡がんセンター、聖隷三方原病院、国立病院機構嬉野医療センター、堺市立総合医療センター、産業医科大学、茨城県立中央病院、国立病院機構九州医療センター、九州がんセンター、千葉大学医学部附属病院、磐田市立総合病院、神戸大学医学部附属病院、関西医科大学附属枚方病院、大阪府立急性期・総合医療センター、岩手医科大学附属病院、日本赤十字社長崎原爆病院、熊本大学医学

部附属病院、北海道大学病院、倉敷中央病院、京都府立医科大学、近畿大学医学部奈良病院、新潟市民病院、福山医療センター、KKR 札幌医療センター、獨協医科大学越谷病院、藤枝市立総合病院、香川大学医学部附属病院、佐久総合病院佐久医療センター、医療法人藤井会石切生喜病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、東京大学医学部附属病院、NTT 東日本関東病院、社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院、鳥取大学医学部附属病院、名古屋陽子線治療センター、岡山大学病院、医療法人禎心会札幌禎心会病院、津山中央病院、藤田保健衛生大学病院、相澤病院、市立長浜病院、成田記念病院、高清会高井病院、伊勢赤十字病院、神戸陽子線センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター等

⑤ 研究の対象：

2011年1月1日から2015年12月31日の期間に名古屋市立西部医療センターにてリンパ節転移のある前立腺癌に陽子線治療を受けられた方

⑥ 調査項目：

- ・基本情報：年齢、既往歴、前立腺癌診断日、病期、リンパ節の転移部位及び個数、組織型など
- ・治療情報：放射線治療前のホルモン療法の有無、放射線治療中に併用したホルモン療法の有無、化学療法の有無後治療、放射線治療の情報（治療開始日、治療終了日、照射野、線量）など
- ・予後情報：治療効果、有害事象、予後など

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、JROSG（特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構）事務局へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

日本放射線腫瘍学会や放射線科領域の専門学術誌で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は自己資金にて臨床研究が実施されます。そのため、本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	陽子線治療科	岩田 宏満 TEL：052-991-8121（代表）